

ROLLS-ROYCE | MEDIA INFORMATION

歴史的な販売記録を達成

ロールス・ロイス・モーター・カーズにとって記念すべき年に

2023年1月9日、グッドウッド、ウエスト・サセックス

- ロールス・ロイス・モーター・カーズは、2022 年の販売台数が過去最高の 6,021 台に達し、前年同期比 8%の増加を記録
- ビスポーク車の受注額も 118 年の歴史において最高に達し、真のハウス・オブ・ ラグジュアリーとしての地位を反映
- 米国、中華圏、欧州市場がグローバル販売をバランスよく牽引
- 2023年後半以降の生産分までに達している全モデルの受注状況
- 完全電気自動車である「スペクター」のプレオーダー数は、ブランドの野心的な期待 を上回る結果に
- 過去最高の販売記録の達成は、ロールス・ロイスの本拠地グッドウッドでのフル生産 開始 20 周年の節目と重なった
- ロールス・ロイスの本拠地グッドウッドでは、2022 年に 150 人以上の新規雇用を 創出
- ホーム・オブ・ロールス・ロイスでは、現在 50 カ国を超える国籍、2,500 人の 従業員が勤務





「2022 年は、ロールス・ロイス・モーター・カーズにとって記念すべき年となりました。私たちは、ロールス・ロイス初の完全電気自動車シリーズモデルである『ロールス・ロイス・スペクター』を世界に公開しただけでなく、製品ポートフォリオ全体に対する旺盛な需要により、12 カ月間で6,000 台を超える納車をした初めての年でもありました。しかし、真のハウス・オブ・ラグジュアリーとして、販売台数だけが当社の成功の尺度ではありません。当社は量産メーカーではなく、また今後もそうなることはありません。ロールス・ロイスの真髄はビスポークであり、昨年はビスポーク車の受注も過去最高水準に達しました。お客様のご要望は、これまで以上にイマジネーションに富んだものとなり、より高度な技術も求められてきていますが、私たちはこのチャレンジを積極的に受け入れています。グッドウッドのチームによる比類なきビスポークの創造性と品質により、現在お客様が自分だけのユニークな自動車を購入するためにかけている金額は平均して約50万ユーロとなっています。

もちろん、この成功は一夜にして成し遂げられたわけではありません。2023 年、当社はロールス・ロイスの本拠地であるグッドウッドが20 周年を迎えます。この20 年間、私たちは、継続的かつ持続可能な成長、慎重な経営と計画、利益性を重視する確固たる姿勢、ロールス・ロイスというブランドへの敬意と先見性のある改革に基づいた長期戦略によって、事業を変革してきました。私たちが成功したのは、従来の独自性と希少性を保ちながら、お客様の声に耳を傾け、お客様の好みや要望に合わせて継続して製品を進化させ、意識的にブランドを若返らせることに努めてきたからなのです。当社の製品ポートフォリオは大幅に拡大し、今年の後期には世界初のウルトラ・ラグジュアリー・エレクトリック・スーパークーペ『ロールス・ロイス・スペクター』を発売する予定です。現在、グッドウッドでは2,500人の従業員が働いており、2022年だけでも150人以上の新規雇用を創出しました。しかし、おそらく最も重要なのは、私たちが本質よりもスタイルを優先したことは一度もないということです。これまで同様、ロールス・ロイスはテクノロジー、品質、ラグジュアリーにおいて、ベスト・オブ・ベストを提供します。」

ロールス・ロイス・モーター・カーズ最高経営責任者、 トルステン・ミュラー・エトヴェシュ





NEWS SUMMARY

ロールス・ロイスは、2022 年に過去最高の年間販売台数を達成し、前年比 8%増の合計 6,021 台の車を世界約 50 カ国のお客様にお届けしました。12 カ月間の販売で 6,000 台を超えたのは、同社の 118 年の歴史上初めてのことです。ビスポーク車の受注額も過去最高水準に達するとともに、ロールス・ロイスの全モデルに対する需要は非常に旺盛で、すでに 2023 年後半以降までの先行受注が確保されています。

2022 年、ロールス・ロイスはほぼすべての地域での販売台数増加を達成し、特に中東、アジア太平洋地域、米国、欧州において前年比で大幅な伸びが見られました。台数そのものだけでなく、より重要なのは、顧客のビスポーク受注額がこれまでになく高水準になったことです。ビスポークのパーソナライゼーションにはほぼ無限の可能性があるため、お客様は自分だけのユニークなロールス・ロイスの購入に平均約50万ユーロをかけています。ロールス・ロイスは、他の追随を許さないビスポークの高い価値と、一貫した収益性重視の姿勢により、主要株主に対して大きな貢献を果たします。

中東は、ロールス・ロイスのビスポーク・コミッションの主要な地域であり、特に広範で個性的なパーソナライゼーションが施されたユニークな作品が多くあります。そこでロールス・ロイスは 2022 年にドバイにグッドウッド以外で初めての招待制プライベート・オフィスを開設し、ホーム・オブ・ロールス・ロイスを現地のお客様にとってより身近なものにしました。今後数カ月から数年のうちに、世界各地にさらなるプライベート・オフィスが開設される予定です。

アメリカ大陸は 2022 年に大幅な成長を遂げ、ほぼすべての市場で前年を上回る売り上げを達成し、ロールス・ロイスにとって最大の単一地域であることに変わりはありません。中華圏は、ロールス・ロイスにとって戦略的に極めて重要であり、2 番目に大きな販売地域です。同地域では逆風が続いており、売り上げは過去最高だった 2021 年と比較して一桁の減少となりましたが、他の市場での売上増加により相殺することができました。

欧州でも市場に影響を及ぼす深刻な地政学的課題がある中、2022 年は地域全体として成長し、英国やドイツなどを含むいくつかの市場では記録的な販売台数を達成しました。また、アジア太平洋地域も過去最高の売上を達成しています。





ロールス・ロイスのかつてない成功は、2023 年 1 月にロールス・ロイスの本拠地グッドウッドが 20 周年を迎えるという節目に重なりました。当初は「ファントム」1 モデルのみを 1 日に 1 台しか製造していなかった同社が、このような記録的な数字を達成できたのは、持続的な成長、慎重な経営と計画、そして成功的なブランドの改革に基づく長期戦略の成果です。特にこの 10 年間、ロールス・ロイスは従来の独自性と希少性を維持しながら、ブランドと製品ポートフォリオの意識的な洗練化と若返りを図り、お客様の要求、嗜好、顧客層の変化に対応してきました。ロールス・ロイスは、真のハウス・オブ・ラグジュアリーであると同時に、革新的でエンジニアリング主導の企業でもあり、これまで同様、最高レベルのクラフツマンシップ、テクノロジー、ラグジュアリー、クリエイティビティを体現します。





FULL PRESS RELEASE

強固な基盤の上に築かれた未来

ロールス・ロイス・モーター・カーズは、史上初のオール・エレクトリック・モデル「ロールス・ロイス・スペクター」を発表した2022年に118年の歴史上類を見ない世界的な販売実績を達成しました。合計 6,021 台が世界中のお客様に納車され、2021年に記録した販売台数5,586台から8%増加しました。このかつてない成功は、2023年1月にロールス・ロイスの本拠地グッドウッドが20周年を迎える節目に重なりました。

しかし、真のハウス・オブ・ラグジュアリーであるロールス・ロイスにとって、販売台数が主要な成功の尺度ではありません。ロールス・ロイスは量産メーカーではなく、また今後もそうなることはありません。ロールス・ロイスの真髄はビスポークであり、ビスポーク車の受注額も過去最高となりました。お客様から寄せられる精緻で個性的な機能に対する要望はますますイマジネーションに富んだものとなり、より高度な技術も求められてきていますが、ロールス・ロイスの本拠地グッドウッドでは、専門のデザイナー、エンジニア、クラフツマンから成るビスポーク・コレクティブが、このチャレンジを積極的に受け入れています。素晴らしいビスポーク・コミッションやコレクション・カーのほかに、ロールス・ロイスでは、過去に3台のみが製作され、今後も製作されることがないコーチビルド「ボート・テイル」の次なる章を発表しました。コーチビルドは、ブランドの製作技術の頂点であり、企業の長期的な戦略の重要な要素でもあります。そして、次のプロジェクトはすでに始まっています。

ビスポーク事業は拡大を続けており、無限に近い可能性を秘めています。現在お客様は自分だけのユニークなロールス・ロイス購入のために約50万ユーロをかけており、これは2022年にロールス・ロイスが達成した記録的な収益性にも寄与しています。ハウス・オブ・ラグジュアリーにふさわしく、ロールス・ロイスは台数ではなく、貢献利益を基準に事業を進めており、台数が少なく希少価値があることは、このブランドの並外れた強みをさらに高め、維持するために不可欠なものです。





グローバルな動向

米国は、再びブランド全体として最大の市場となりました。新世代の若い起業家や、富や 雇用の創出に関わる人たちが初めてロールス・ロイスに引き寄せられ、顧客層が広がったか らです。

中華圏は、ブランドにとって世界第 2 位の市場として、戦略的に極めて重要な位置を占めています。上海や北京、そして杭州や深圳といった「新一線都市」での大きな成功は、バランスのとれた地域全体の販売状況を支えています。逆風が続いているため、中華圏全体の売り上げは2021年の過去最高記録と比較して一桁の減少となりましたが、これは他の地域での売上増加によって相殺することができました。

欧州では、同地域に影響を及ぼす深刻な地政学的課題があるにもかかわらず、ロールス・ロイスの売れ行きは 2022 年に新たな高みに到達しました。これには、英国やドイツなどの市場における過去最高の販売台数が含まれています。

中東は、ロールス・ロイスのビスポーク・コミッションの主要な地域であり、特に広範で個性的なパーソナライゼーションが施されたユニークな作品が多くあります。2022 年、ロールス・ロイスはグッドウッド以外では初となる招待制プライベート・オフィスをドバイに開設し、ホーム・オブ・ロールス・ロイスを現地のお客様にとってより身近なものにしています。今後数カ月から数年のうちに、世界各地にさらなるプライベート・オフィスが導入される予定です。

アジア太平洋地域は、ロールス・ロイスのグローバルな成功において重要な役割を担っており、2022 年の販売台数は力強く伸びています。日本では、成功した起業家が投資としてロールス・ロイスの購入を選択することが増えています。また、非常にダイナミックな市場である韓国は、過去 2 年間で著しい成長を見せており、近い将来、この地域におけるロールス・ロイスの主要市場となる可能性を持っています。

すべてのモデルに強い需要

10 月に華々しくデビューした世界初のウルトラ・ラグジュアリー・エレクトリック・スーパークーペ「ロールス・ロイス・スペクター」のプレオーダーは、ロールス・ロイスの野心的な期待を上回るものとなりました。お客様への最初の納車は 2023 年第 4 四半期に





なる予定で、ブランドとしては 2030 年末までに完全な電気自動車のみを製造するための 第一歩となります。ロールス・ロイスのすべての現行モデルに対する需要は極めて旺盛で、 2023 年後半以降まで先行受注が確保されています。

2022 年、「カリナン」はロールス・ロイスで最も需要の多いモデルとしての地位を固め、「ゴースト」はアジア太平洋地域で最も売れたモデルとなりました。ロールス・ロイスの反逆児的な存在である「ブラック・バッジ」は、驚異的な成長を遂げています。

経済効果

ロールス・ロイス・モーター・カーズは、英国の偉大なサクセス・ストーリーであり、地域 経済や、より広い英国経済に重要な貢献をしています。

ロールス・ロイスの本拠地グッドウッドでは、2022年に150人以上の新規雇用が創出され、 現在、50 カ国を超える国籍からなる 2,500 人の従業員が働いています。また、ロールス・ ロイスの本社は高度な技術を持つクラフツマン、エンジニア、クリエイターを育成する 国家的に重要な拠点でもあります。ロールス・ロイスは毎年、100 人以上の実習生を支援し、 ほぼ同数のインターンシップも受け入れています。

2023 年に 20 周年を迎えるホーム・オブ・ロールス・ロイスのグッドウッドでは、世界で唯一、ロールス・ロイスの自動車が設計・製造されており、一台一台がお客様ご指定のビスポーク装備を搭載したオーダーメイドとなっています。ロールス・ロイスは、既存施設の拡張、近代化、アップグレードを行い、主にビスポークのキャパシティとキャパビリティをさらに向上させるために、既存施設の東側に土地を取得しました。

ロールス・ロイス・モーター・カーズ最高経営責任者 トルステン・ミュラー・エトヴェシュ は次のように述べています。「ロールス・ロイスの本拠地グッドウッドの 20 周年を迎えるに あたり、過去最高の販売台数を達成したことは、ロールス・ロイス・モーター・カーズが 英国の偉大なサクセス・ストーリーであることを示しています。当社の事業は非常に強固な 基盤の上に成り立っており、すでに 2023 年後半以降までの先行受注を確保しております。 また、当社も世界的な課題や経済の逆風と無縁ではありませんが、バランスのとれた グローバル販売戦略のおかげで、2023 年はロールス・ロイスにとって好調な年になると、 慎重かつ前向きに予想しています。





しかし、グッドウッドと世界中にある当社の地域オフィスで働いている素晴らしいチーム、いわばグローバルな『ロールス・ロイヌ・ファミリー』の存在なしには、このような成果の達成は不可能でした。彼らの貢献は、彼らの持つ卓越した技術、才能、知識、経験にとどまりません。それぞれのパーソナリティや視点が、ブランドに強さと個性を与えているのです。チームの誰もが、共通して優れた技術と細部へのこだわり、チャレンジ精神とアイデアを実現させる卓越した能力を持っています。そして何より、彼らは常に完璧を求め、それ以下のものでは満足しない人たちなのです。ロールス・ロイスの創業者たちも、彼らと一緒に仕事ができたなら、それを誇りに思うことでしょう。なぜなら、私自身が毎日、そう思っているからです。」

- 以上 -

ロールス・ロイスのウェブサイト「<u>PressClub</u>」では、プレス・リリースやプレス・キットのほか、ダウンロード可能な高解像度の写真やビデオ映像も多数ご用意しております。以下のリンク先で、低解像度や高解像度の画像および動画をご覧ください: https://bit.ly/3BSXQLm

必要に応じて、ソーシャル・メディア(<u>LinkedIn、YouTube、Twitter、Instagram、</u> <u>Facebook</u>)でロールス・ロイス・ブランドをフォローしてください。

編集者の皆様へ

ロールス・ロイス・モーター・カーズは BMW グループの完全子会社であり、航空機用エンジンや推進システムを製造する Rolls-Royce plc (ロールス・ロイス・ピーエルシー)とは完全に別会社です。英国ウエスト・サセックス州グッドウッドにあるロールス・ロイス・モーター・カーズの本社および製造工場では 2,500 名の熟練した男女が働いており、世界で唯一、当社の極めて上質な自動車を手作業で製造しています。





CONTACTS | regional

Hal Serudin +65 6838 9675 hal.serudin@rolls-roycemotorcars.com ロールス・ロイス・モーター・ +81 3 4580 9101 rrmc@prap.co.jp カーズ広報事務局 PRAP Japan 八代 亜祐美

+66 83 076 6196

小島 静志 野村 亜美 ヘルプデスク +65 9017 6272 *

info@rrmcapac.com

*WhatsApp / ^Zalo

